

設置説明書

IH クッキングヒーター

トッププレート幅 75cm
品番 KZ-VW33E
KZ-VSW33E
KZ-MSW33E
KZ-TSW33E
KZ-XSW33E
KZ-HSW32E

トッププレート幅 60cm
KZ-VS33E
KZ-MS33E
KZ-TS33E
KZ-XS33E
KZ-HS32E
KZ-H32E

Panasonic®


設置される方へ


- 本機は約30Aを消費するため、平均的なご家庭の場合で、総電気容量を約60A以上にするをお勧めします。60A未満の場合は、総電気容量を増やすか、本機の消費電力を4,800Wに切り換えることをお勧めします。
- ガス機器から付け替える場合
ガス事業者に連絡しないでガス工作物（ガス配管、ガスメーター、ガス栓など）を無断で撤去することは法令により規制されています。事前にガス事業者へ連絡してください。また閉栓はガス事業者に依頼してください。
- 排気接続のビルトイン電気オープンレンジを設置する場合は、必ず電気オープンレンジの設置についての説明書に従ってください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
- 設置説明書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

1 安全上のご注意


人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある」内容です。

 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

警告

- **設置は、「設置説明書」に従って確実に行う**
(設置に不備があると、漏電・火災の原因)
- **電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う**
(接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因)
- **200V・30A以上の専用回路と漏電遮断器を設置する**
(この工事をしないと、配線部が異常発熱する原因)
- **アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う**
- **アースを確実に取り付ける**
(漏電すると、感電の原因)

- **絶対に分解・修理・改造は行わない**
(火災・感電・けがの原因)
・トッププレートや操作部ユニットの分解、電源コードの直付けなど。
- **トッププレートに衝撃を加えない**
上に乗ったり、物を落とさない
(万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因)
- **試運転中は、トッププレートやグリルなど高温部に触れない**(やけどの原因)

注意

- **ワークトップは、耐熱材料を使う**
メラミン化粧板(JIS K 6903)
またはこれと同等以上の物
(耐熱性の低い材料は、火災・変形の原因)
※ニス引きのものは変色するため使わない。

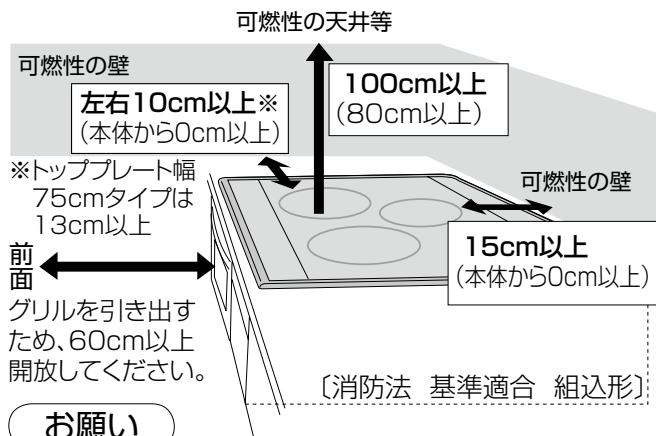
2 設置場所 / 外形寸法

壁からの距離

火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条に従って設置してください。

■可燃性の壁(防火構造壁以外)の場合

・()内は不燃性の壁または防熱板を取り付けた場合



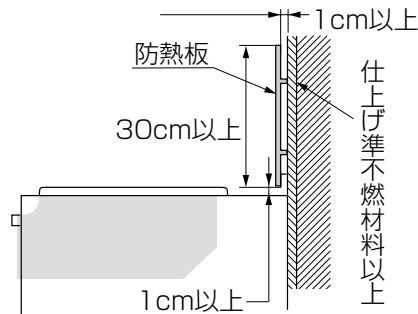
お願い

- 製品の金属部がキッチンの金属部に接触する場合はキッチンの金属部が、建造物の壁中の金属(メタルラスなど)に接触しないようにしてください。(電気設備技術基準第167条で設置することが定められています)

■左記の距離を離せない場合

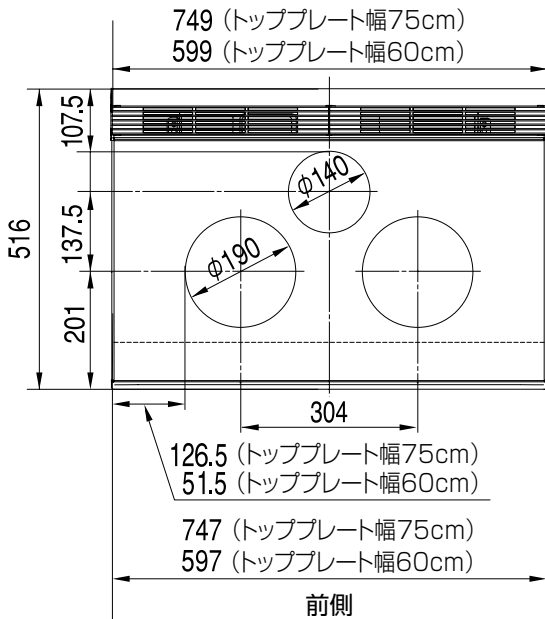
防熱板を取り付ける

- 背面に取り付ける場合は、後ろIHヒーター(またはラジエントヒーター)を中心に左右の位置をそろえてください。
- 本体の側面に取り付ける場合も、上記と同じ距離を設けてください。

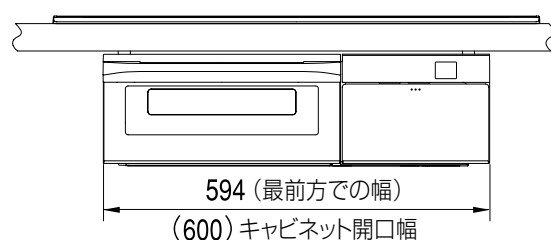


外形寸法図

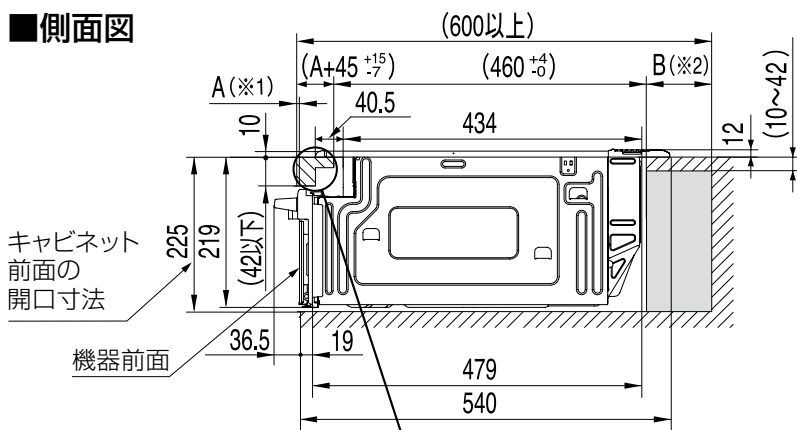
■平面図



■正面図



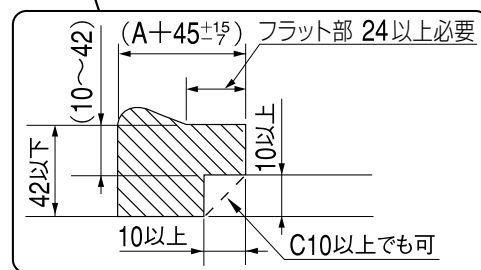
■側面図



※1: A寸法は、ワークトップ前面とキャビネット前面(機器前面)との差です。

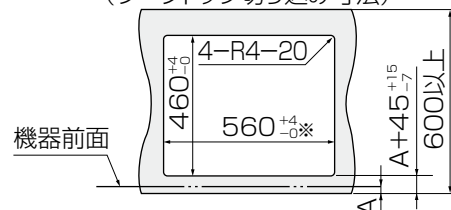
※2: B寸法(後方スペース)80mm以上あれば、パナソニック電工製の露出コンセント(WK36301B)が使えます。

- コード長さ: 約0.7m



取り付け穴

(ワークトップ切り込み寸法)



※横寸法は560 ±0.4まで対応可能。

3 電気工事をする

専用回路の設置

■ブレーカー付き単相200V・30Aの専用回路

- 三相200V(動力電源)は使わない(故障の原因)

■屋内配線用電線

埋込型コンセント	単線直径2.6mm以上
露出型コンセント	単線直径2.6mm以上または、より線5.5mm ² 以上

漏電遮断器の設置

- 推奨漏電遮断器(パナソニック電工製)

品番	BJS3022N(HBモジュール) または BSHE23022(コンパクトタイプ)
定格電流	30A
感度電流	15mA

※上記以外では、IHクッキングヒーターに
適さないものがあります。

コンセントの設置

D種接地工事を必ず行ってください。(コンセントの一極接地用に配線してください。)

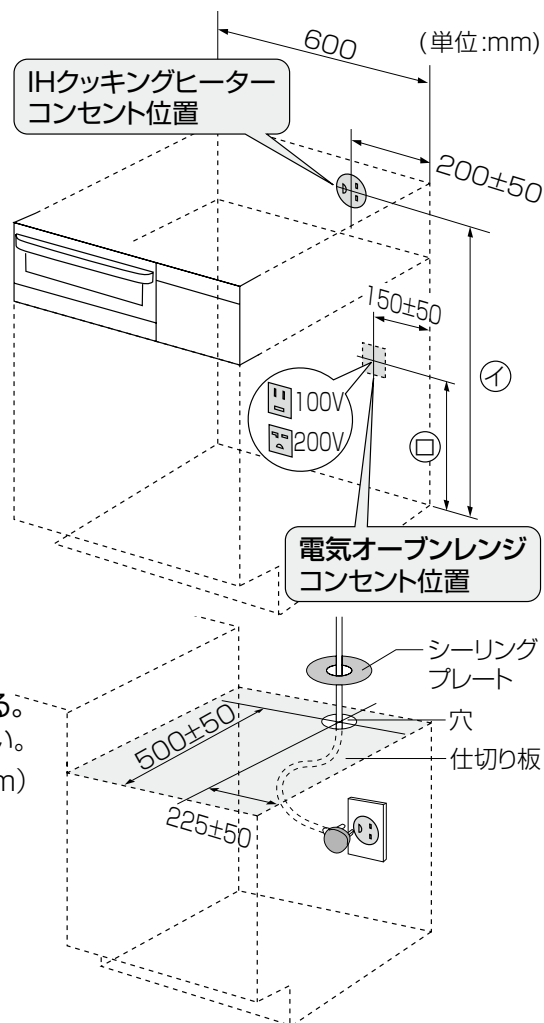
■コンセントの種類・位置

- 推奨コンセント(パナソニック電工製)

	IHクッキングヒーター 200Vコンセント	電気オープンレンジ	
		100Vコンセント	200Vコンセント
定格	単相250V・30A(接地2P)	単相125V・15A(接地2P)	単相250V・20A(接地2P)
品番	(埋込型) WF3630B または (露出型) WK36301B 	(埋込型) WN1031 	(埋込型) WN1932 または (露出型) WKS294 

●コンセントの取り付け位置

キッチン 高さ	IHクッキング ヒーター コンセント ①寸法	電気オープンレンジ コンセント ②寸法
850mm	700±15mm	商品によって異なります。 詳細は電気オープンレンジの設置に ついての説明書をご覧ください。
800mm	650±15mm	



■仕切り板より下にコンセントを設置する場合

(仕切り板のあるキャビネット)

ホールソーなどを使い、φ60mm以上φ100mm以下の穴を開ける。
※穴をふさぐときは、シーリングプレート(あっせん品)を貼り付けてください。

- シーリングプレート 品番: KZ-042 (外径約140mm、内径約30mm)

「お買い求め先」にお問い合わせください。

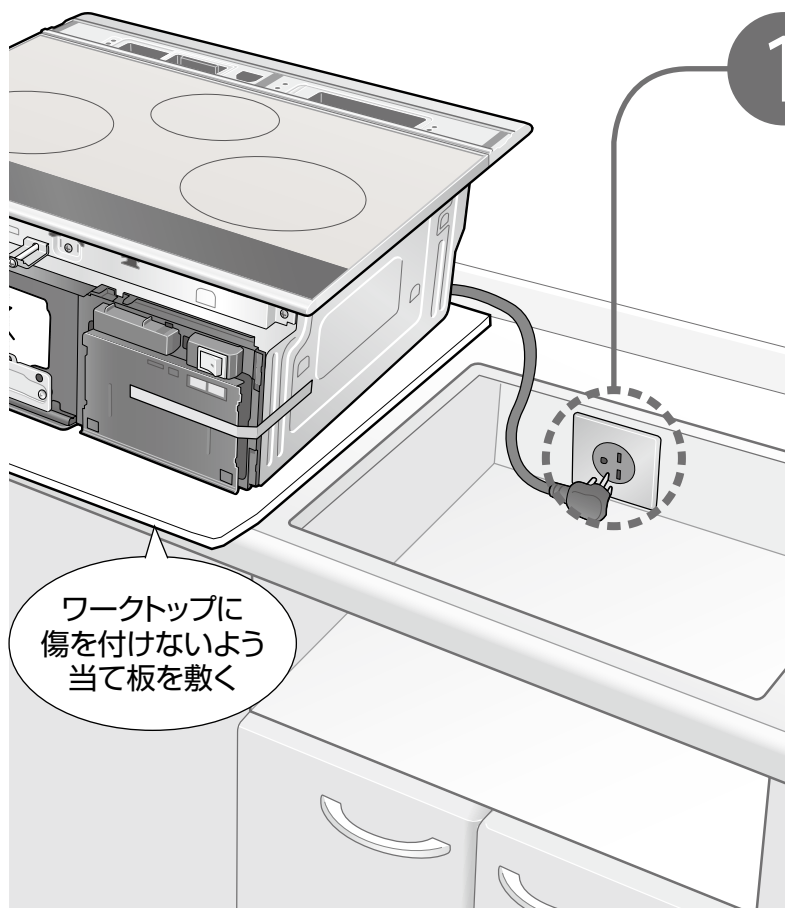
※詳細はシーリングプレートに添付の説明書をご覧ください。

お願い

- 電源コードがよじれたり、負担がかからないようにIHクッキングヒーターコンセントの向きに注意してください。

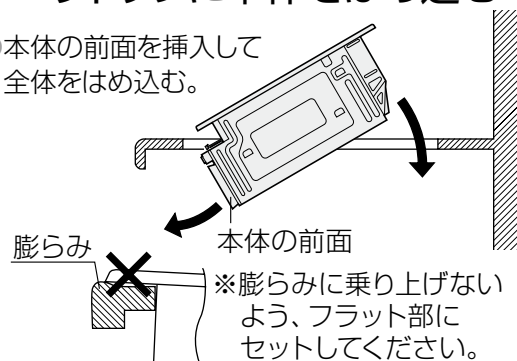
4 本体を設置する (同梱部品をご確認ください)

① 電源プラグを差し込み、本体をはめ込む



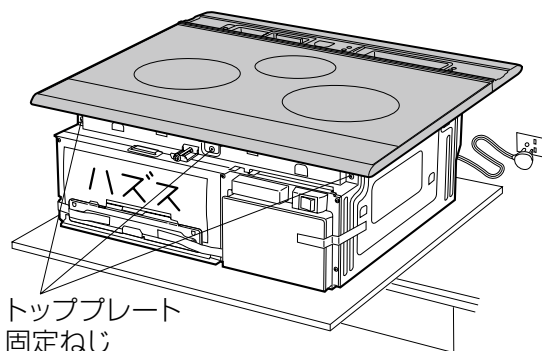
1 電源プラグを差し込み、ワークトップに本体をはめ込む

- 本体の前面を挿入して全体をはめ込む。



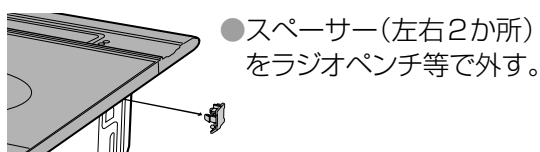
- グリルの止めテープや当て紙は、本体をはめ込んでから外す。(先に外すと、スライドレールが前に出てきます)
- 前面をワークトップに当てない。(スイッチの破損や、傷が付く原因)
- 本体底面とキャビネットの間に、電源コードを挟まない。(本体が浮き、すき間がばらつく原因)
- フレーム下面とワークトップのすき間が、ほぼ均一かどうかを確認する。

■ フレーム下面とワークトップのすき間が均一でない場合は



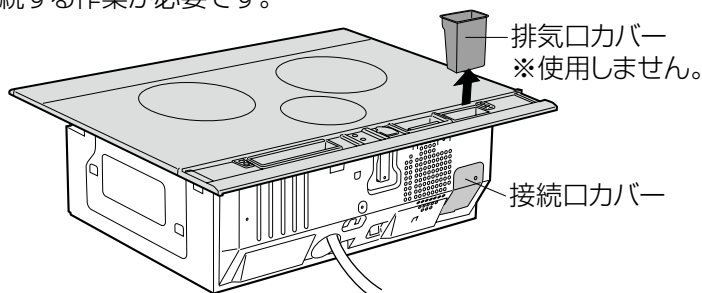
- ① 本体を取り出し、トッププレート固定ねじを緩める。
- ② トッププレート手前の中央を強く押しながら、中央のねじを締め直す。(続けて左右も締め直す)
- ③ 再度ワークトップに本体をはめ込み、すき間がほぼ均一であることを確認する。

■ 取り付け穴横寸法が550mmのとき



排気接続の電気オープンレンジを設置する場合

IHクッキングヒーターに、電気オープンレンジ付属の「排気筒」を接続する作業が必要です。



- ① 排気口カバーを外す。
- ② 背面の接続口カバーを外す。
- ③ IHクッキングヒーターの排気口から「排気筒」を挿入して、電気オープンレンジの排気口に接続する。

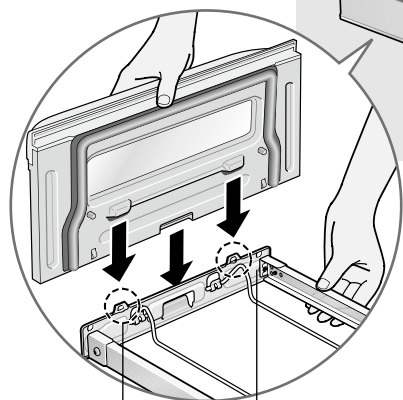
※ IHクッキングヒーターと電気オープンレンジの前面の位置をそろえてください。

※ 詳細は電気オープンレンジの設置についての説明書をご覧ください。

②グリルの扉を取り付ける

1 引き出して、受け皿・焼き網の当て紙を外す

2 扉を取り付ける

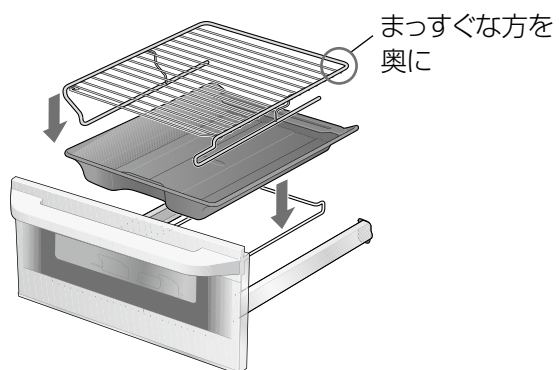


スライドレール

●グリル扉取り付けツメを、3か所同時に「カチッ」と音がするまで差し込む。(中央のツメはスライドレールの外側にあります)

3 受け皿・焼き網を受け皿ホルダーにのせる

受け皿ホルダー
焼き網
受け皿



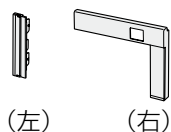
4 閉める

同梱部品

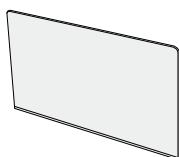
天ぷら鍋
1個



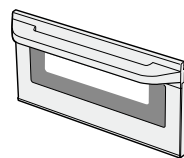
サイドカバー：各1個



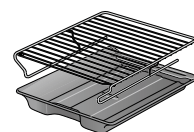
操作部カバー：1個



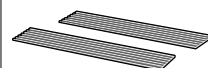
扉：1個



焼き網・受け皿
各1個



吸・排気パネル
2枚



③ サイドカバーを取り付け、本体の位置を調整する

2 サイドカバー(右・左)を取り付ける

- 左に回すようにしてツメ(2か所)をはめる
- ツメ(4か所)をはめる

1 本体操作部の止めテープを外し

■ サイドカバーを外すとき

サイドカバー(右)

- ・ 左側を外し
- ・ 指を入れ手前に引っ張る

サイドカバー(左)

- ・ 右に回すような感じで引っ張る。

■ 扉を外すとき

裏側にある左右の突起を押しながら、真上に引き上げる。

3 本体の位置を調整する

- ① キャビネットとサイドカバーのすき間を左右で均一にする
- ② キャビネットの扉面に本体前面を合わせる
※位置を調整するときは、フレームの周囲から防水シールがはみ出さないように注意する。はみ出した場合は、薄いヘラ状のもので軽く押し込む。
- ③ 調整後は、いったん扉とサイドカバー(右)を外す。
(前固定金具を締めるため)

⑤ 操作部カバー・扉の取り付け

- ① サイドカバー(右)を再セットする
- ② 操作部カバーを取り付ける
- ③ グリルに扉を再セットし、閉める

■ 操作部カバーの取り付け方

- 右側→中央→左側の順に取り付ける。

- ① 右側を取り付ける
 - ② 中央を押す
 - ③ 左側を押し込む
 - ④ 中央が浮いていないか確認する
-
- 凸部
- ツメの穴に凸部をはめる(2か所)

■ 取り外し方

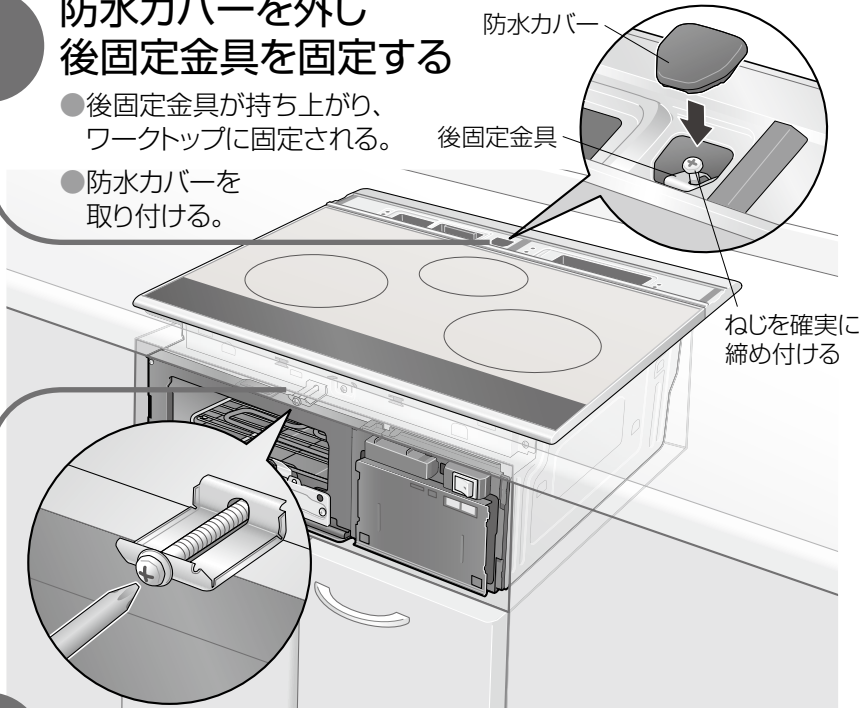
- ① グリル扉を外す
 - ② 操作部を開き
 - ③ ①ドライバーでねじるように左側のツメを外す(2か所)
-

④固定する

1

防水カバーを外し 後固定金具を固定する

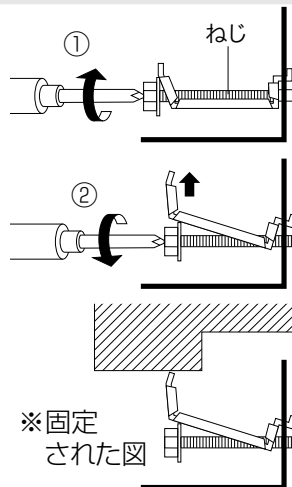
- 後固定金具が持ち上がり、ワークトップに固定される。
- 防水カバーを取り付ける。



2

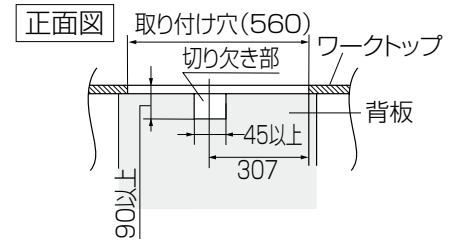
前固定金具を固定する

- ①ねじを緩めて、前固定金具を緩める
 - ②前固定金具をねじの上に載せるようにセットし、ねじを締め付けてワークトップの裏面に固定する
- ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにする。
※先の長い(約70mm以上)ドライバーをお使いください。
 - 固定後は、フレームを押して動かないことを確認する。

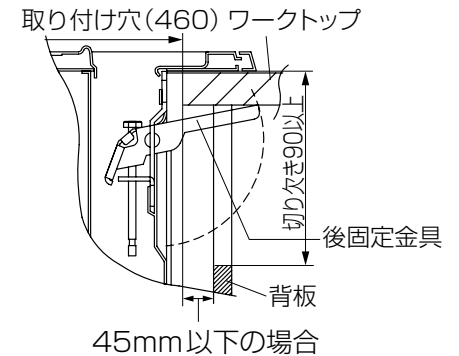


■ワークトップの後方に背板がある場合

背板位置がワークトップの取り付け穴から45mm以下の場合、後固定金具が通るように切り欠きを設ける。

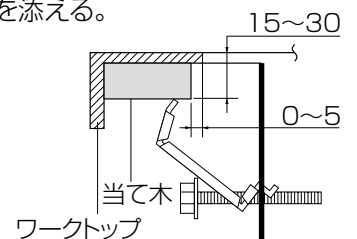


側面図



■ワークトップの厚みが薄い場合

当て木を添える。



あっせん品(前パネル・前飾り枠)について

■キャビネット前面の開口寸法が、標準(225mm)より大きい場合 前パネルを取り付ける。

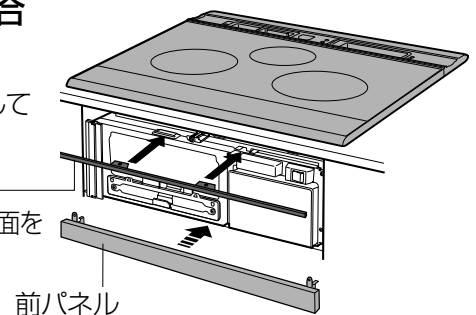
開口寸法	前パネル(シルバー)品番	前パネル(ブラック)品番
245mm	AD-KZ043S-25	AD-KZ043-25
270mm	AD-KZ043S-50	AD-KZ043-50
300mm	AD-KZ043S-80	AD-KZ043-80

■本体とワークトップのすき間が大きい場合 前飾り枠を取り付ける。

前飾り枠品番	高さ
AD-KZ046B	13mm
AD-KZ045B	24mm

- 操作部カバーとサイドカバーを外して取り付ける。

- 前飾り枠
- 差し込み部のある面を下にする



お問い合わせ先：パナソニック電工ホームエンジニアリング株式会社
システム部材開発センター (06) 6942-6202

(2008年10月現在)

5 設置完了後、確認する

✓ 確認項目

包装材料の取り外し

● 本体操作部の止めテープ・グリルの当て紙

同梱部品などの取り付け

● 吸・排気パネル・防水カバー・サイドカバー・操作部カバー・グリル(受け皿・焼き網・扉)

外 観

● フレームが浮いていないこと・フレームの周囲に防水シールがはみ出していないこと
● トッププレートが汚れていないこと ● 操作部カバーが浮いていないこと

電気工事

● 電源電圧が単相200Vであることを確認する
※単相100Vでは、電源スイッチを入れたときに「H20」を表示します。

▶ 単相200Vに接続しても表示が消えない場合は故障です。





● アースが設置されていること
● 漏電遮断器が設置されていること


作 動

① 電源スイッチを入れる

▶ 通電ランプ点灯

② 各ヒーターの作動を確認する

● 左・右IHヒーター:  →  と  → 

● 後ろIHヒーター(またはラジエントヒーター): 


● 必ず鍋に水を入れ「火力5」以下で加熱する。
※付属の天ぷら鍋を空だきしたり、強火で加熱しない。
(鍋の破損・変形の原因)

※鍋を置かないと「鍋なし自動OFF」が働いて約1分後に自動的に通電を停止します。

※**揚げ物**で湯を沸かした場合は、次のようになることがあります。異常ではありません。

- 鍋が熱くなるまで時間がかかる
- 「U15」を表示し通電を停止する

▶ しばらくすると湯が沸く

▶ 「U15」表示は  を押すと消える。

③ グリルは本体操作部の  を押し、作動を確認する

▶ しばらくすると庫内が熱くなる

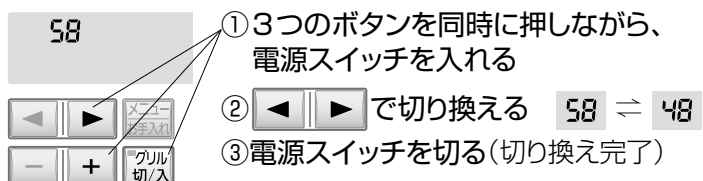
- 電気試験後は
- 必ず電源スイッチを「切」にしてください。
 - 同梱の天ぷら鍋を使った場合は、必ず水を捨ててよくふいてください。
 - 天ぷら鍋・取扱説明書・設置説明書・保証書は、必ずお客様にお渡しください。

設置完了
確認者印



消費電力の切り換え(4,800W/5,800W)

出荷時は5,800Wに設定しています。

- 必ず契約容量ブレーカー(契約容量ブレーカーがない場合は主幹ブレーカー)をご確認いただき、総電気容量が60A未満の場合は、消費電力を4,800Wに切り換えることをお勧めします。



① 3つのボタンを同時に押しながら、電源スイッチを入れる

②   で切り換える 58 ⇒ 48

③ 電源スイッチを切る(切り換え完了)

パナソニック電気株式会社

製造元 パナソニック株式会社 キッチンアプライアンスビジネスユニット

〒651-2271 神戸市西区高塚台1丁目5番1号

© Panasonic Corporation 2008

ZY16-6812
S0608Y2109